



Hiroshima City University Language Center

広島市立大学語学センター
Newsletter No.73 (2024.10.15)



広島市立大学 30 周年

Open doors with language learning!

開学 30 周年の今年度、語学センターも設立 30 周年となりました。10 年前の 2014 年度、語学センターニューズレターで 20 周年記念特集を組みましたが、30 周年の今回は、20 周年以降の語学センターを振り返ります。各写真や画像の下には、既刊ニューズレターでの掲載号を記しています。この 10 年間に開始し、現在まで続く事業などがたくさんあります。

目次

語学センター 2015-2024	1・2
大学の語学学習を振り返って	
芸術学部4年 藤本 海	2
Meet the Language Tutors!	
情報科学研究科 博士前期課程	
Mohd Shafiq Bin Nasir	3
日本語チューター対象ガイダンス	3
語学センター実施報告	4

ランゲージチューター始動 (2016 年度～)



No.63

2016 年度に創設し、2017 年度に運用開始したランゲージチューターは、学生同士がペアやグループでお互いの母語または母語レベルの言語を教えあう制度です。会話練習、ライティング

チェック、派遣留学前の集中的訓練が主なレッスン内容ですが、留学生の人間関係形成にも大きく貢献しています。また、外国語教員を目指す学生に、貴重な実践の場も提供しています。

2022 年度より、留学生の希望者には参加証明書を発行しています。



No.70

短期語学留学 業務担当 (2017 年度～)

2017 年度より、ハワイ大学マノア校、オルレアン大学、西南大学、慶北国立大学校、モスクワ大学を擁する短期語学留学の担当窓口になりました。参加者は授業



No.71

単位の取得ができます。2020 年度、新型コロナウイルス感染症の拡大の影響により渡航中止となりましたが、2023 年度、ハワイ大学マノア校への派遣を再開し、続いて今年度夏休みには慶北国立大学校への派遣を再開しました。春休みには、オルレアン大学、西南大学への短期語学留学再開を目指しています。

コロナ禍中オンライン化への対応 (2020-22 年度)

新型コロナウイルス感染症の感染拡大による授業オンライン化に伴い、語学センターでも必要な対応・支援を行いました。施設利用制限の時期は、雑誌を郵送貸し出しし、ランゲージチューターをオンライン化して継続しました。



No.65

30 周年 記念

語学センター 2015-2024

オバマ大統領広島訪問中継 (2016 年)

2016 年 5 月 27 日、歴史的なオバマアメリカ大統領の広島訪問時には、市大生がテレビ中継で、ランゲージラウンジからコメントしました。



No.55

語学センター機器更新 (2014-15、2019-20 年度)



No.55

2015 年度の機器更新時に整備されたホールには外国語を書く writing wall を設置。様々な言語が飛び交い

ました。2020 年度の機器更新時に、EV ホールに世界地図を設置し、ホールはランゲージチューターのレッスン場所としてより快適で利便性が高いランゲージラウンジになりました。

次の機器更新は 2026 年度の予定です。



No.67



No.63

課外プログラム オンライン英会話開始



No.68 ほか

長期休暇中に提供している課外インテンシブプログラムは、リスニング・リーディング・

文法に特化したプログラムが登場。

留学生の日本語学習支援としては、2019 年度から日本語能力検定試験準備のための JLPT オンラインハーフ模試を実施しています。

英語学習支援としては、2022 年度からオンライン英会話が登場。2023 年度からは条件達成で助成金が給付される方式になり、レッスン継続の後押しをしています。



No.69

知のトライアスロン 英語多読マラソン開始

国際学部授業と連携して実施していた知のトライアスロン外国語映画上映会を 2022 年度、「映画 DE 学ぼう！」として、ランゲージラウンジでの上映に刷新。2023 年 5 月の G7 広島サミット開催時には、参加各国の作品を上映しました。



No.63



No.56

2016 年度冬休みには、「英語多読マラソン」も開始しました。

(p2 へ続く)

先輩に聞きました!

芸術学部からフランス・レンヌ第二大学へ

藤本海さんは、入学時から新型コロナウイルス感染症による様々な制限を乗り越えてきた世代の1人です。コロナ禍でしたが、2020～2022年度にはランゲージチューターとしてオンライン・対面両方のレッスンを担い、2022年度にはチューターとしてもレッスンを受け、外国語学習に真摯に取り組んできました。

芸術学部の学部生として初めてフランスの海外提携校に1年間の長期派遣留学を実現した藤本さんに、フランス語について実感したこと、また振り返って感じたことをシェアしていただきました。

大学の語学学習を振り返って

芸術学部 4年 藤本 海



◆友人との生活 (右が藤本さん)

学術提携校であるレンヌ第二大学へ9月スタートの1年間の学部交換留学をしました。

レンヌ第二大学への留学の場合、基本的に語学学校への留学が多いと思います。そこで自分のレベルに合わせてフランス語を勉強する事ができます。また、現地での人の関わりの中で、語彙なども自然と覚えるものが多かったです。

しかし、基礎となる動詞などの語彙や、その活用を使えるようにする事、綺麗な発音で話す事はとても大切だと留学中に強く感じました。本学のフランス語の授業では、その部分に力を入れていただいていたので、授業をしっかり受けて、基礎を身につけていく事が日頃から大切だと思いました。その上で、興味のある分野のものでいいので、フランス語に触れる機会を留学へ向けて増やしていくと、到着後に耳などが慣れるまでに時間がかかりにくいので、私は良かったと感じました。



◆アニメーションの歴史の授業の様子

1年次より留学を希望はしていましたが、実際に行けるのかなどの不安がたくさんありました。幸いオンライン上で海外の大学生の方々との交流や、留学生支援など、自分の語学力を高めたり、海外の方と関わる機会は多くあり、また、専門研究にも力を入れていたので、本格的に留学へ応募する時にはこれまでの活動をまとめて応募するだけでした。従って、日頃から大学で開かれているイベントや授業などに積極的に参加して、自身の興味のある分野の研究を頑張る事が留学へ向けての手助けになるとも感じました。

(→p1 から続く)

30周年 語学センター 記念 2015-2024



廊下ギャラリー写真展 (2016年度～)

廊下ギャラリー誕生以降、外国や国際交流に関する写真展が行われ、教員の作品やアフリカの写真展、学生による企画展などを開催。現在は海外提携校との交流や留学の報告展示を行っていて、センター来訪者にも関心を寄せていただいています。



No.56



No.58

海外提携大学などからの来訪、 国際交流イベント



No.71

国際交流推進センターとの連携が強化され、海外からの来客や海外提携大学の受け入れ交流時、新規留学生、本学からの派遣留学者が対象のオリエンテーション、HIFによる国際交流ラウンジなどでの施設利用が急増しました。

2023年度の組織改編により、語学センターと国際交流推進センターが統合され、国際センターになりました。



No.70

学会や教育関係集会での 利用

大学英語教育学会(JACET)中国・四国支部研究大会(2018年度)や広島県高等学校教育研究会理科部会総会・研修会(2023年度)での会場利用がありました。



No.60

No.71

階段クイズ(2017年度～)

階段クイズでは、図書館・語学センター棟を1階から4階まで階段を利用すれば、3つの英語フレーズを覚えることができます。



No.58

海外大学との遠隔授業での利用(2017年度)

2017年度、ドイツのヴァインガルテン大学との遠隔授業(国際学部 卜部匡司教授担当)が試験的に実施されました。今年度、再開の見込みです。



No.59



Meet the Language Tutors!

英語

From Malaysia to Hiroshima: My Journey as an English Language Tutor and Scholar

情報科学研究科 博士前期課程 Mohd Shafiq Bin Nasir



◆マレーシアの自分の民族の伝統衣装を着て
広島市内の桜の下で

My name is Mohd Shafiq Bin Nasir, and I hail from Malaysia. I am currently a tutor in the English language, focusing on improving speaking skills. My academic journey began at Universiti Sains Malaysia, an institution that shares a strong relationship with Hiroshima City University (HCU), where I am currently continuing my studies.

I originally majored in industrial microbiology, but my passion for technology and research led me to pursue bioinformation science at HCU, specifically in the development of biosensors. The opportunity to further my studies in Japan was made possible through the prestigious MEXT scholarship offered by the Japanese government.

The learning environment here in Hiroshima is nothing short of conducive, with state-of-the-art instrumentation and the guidance of experts in my field. These factors were pivotal in my decision to study in Japan, a country known for its innovative approach to education and research.

During my time as a tutor, I had the pleasure of teaching four wonderful students: Sakura, Sakuchan, Sayaka, and Kanon. They are not only friendly and eager to learn but also quick to improve. Our sessions were always lively, filled with interesting conversations and cultural exchanges. I learned a great deal from them, especially about Japanese culture and the nuances of living in Japan.



In my traditional Malaysian attire, the 'Baju Melayu,' which holds cultural significance within the Malay community, is worn during important occasions that represents modesty, respect, and adherence to cultural values.

I would like to extend my heartfelt thanks to the Language Centre of HCU for providing me with this invaluable opportunity. Their support has been instrumental in my journey, and I am grateful for the experiences and growth I've gained through this program.

This article reflects my personal and academic journey, and I hope it inspires other students to explore the incredible opportunities that studying and teaching abroad can offer.



◆いつも賑やかで会話が弾むレッスンです。

日本語ランゲージチューター対象ガイダンスを開催しました



◆次のレッスンに直結するアドバイスに参加者も真剣

6月14日(金) 昼休憩時に、日本語ランゲージチューターを対象とした日本語チューターガイダンスを語学センター406教室で開催しました。日本語教育担当の国際学部 重田美咲准教授が担当し、4名が参加しました。

重田先生が各チューターのレッスン状況を確認しながら、教えている留学生の学部や学生区分による状況から、それぞれのニーズに沿ったレッスンアドバイスを提供されました。

日本語ネイティブスピーカーが、普段、意識することのない日本語文法の教え方については、日本語学・日本語教育学の授業を受講し、しっかりと学ぶことを推奨されたので、参加者からもぜひ受講希望したいという声があがっていました。

参加者全員、日本語を教えることへの関心が強く、お互いのレッスン経験から学び合うことができ、今後のレッスンでの実践のヒントをたくさん得て、有意義でとても良いガイダンスになりました。



語学センター実施報告

以下のプログラムを実施しました。

2024年度 前期 いちだい知のトライアスロン



映画 DE 学ぼう！

『外国語（英語・第二外国語）を映画から学ぼう』をコンセプトに、比較的内容がわかりやすい映画を選出し、ランゲージラウンジで紹介を行いました。じっくり視聴したい人は、自習室で視聴可能です。窓口でお問い合わせください。

- 期間 : 4月15日(月)～7月26日(金)
場所 : ランゲージラウンジ
作品 : 4月 ザ・スーパーマリオブラザーズ・ムービー(英語)
5月 リトル・マーメイド(英語)
6月 ウィ、シェフ!(フランス語)
7月 バービー(英語)



2024年度 前期 JLPT オンラインハーフ模試実施

昨年度に引き続き、全留学生を対象とした JLPT 日本語能力試験対応のオンライン模擬テスト(eラーニング)を実施しました。受講期間は JLPT 受験日直前の1か月間で、受講期間に2回分の模擬試験を受け、その後に復習しながら受験対策ができます。

学習内容 : JLPT 日本語能力試験対応模擬テスト (N1～N5全レベル)
受講期間 : 6月8日～7月7日
受講者数 : 5名(内訳:N1 5名)
受講料 : 無料

夏季休暇課外プログラム

夏休み課外インテンシブ英語学習プログラム

「CALL 英語集中」「eラーニング英語」と同等内容の他に、リスニング、リーディング、文法に特化したプログラムがあり、それらを1ヶ月で受講し、受講前後に TOEIC を受験する。

- 募集期間 : 7月29日(月)～8月9日(金)
実施期間 : 9月1日(日)～9月30日(月)
受講人数 : 一般プログラム 29名
リスニング特化型 12名
リーディング特化型 3名
文法特化型 2名
文法基礎 0名



レアジョブオンライン英会話 毎日25分、夏のチャレンジ!

マンツーマンのオンライン英会話レッスンを受講し、受講前後にスピーキングテストを受験するプログラム。指定条件を達成した受講生に受講料の半額助成金が支給される。

- 募集期間 : 7月19日(金)～7月29日(月)
実施期間 : 8月10日(土)～9月9日(月)
受講料 : 7,980円
*「受講率70%」「スピーキングテスト2回受験」で、半額助成。
受講人数 : 14名



視察報告

- 4月19日 広島市立口和中学校 16名
6月6日 進路指導教員対象大学説明会 10名
9月6日 広島市中井副市長
10月9日 広島県立尾道商業高等学校 49名

語学センターの見学や英語eラーニングの体験をしていただきました。



発行日 2024年10月15日
発行 広島市立大学語学センター
〒731-3194 広島市安佐南区大塚東 3-4-1
編集 堀本真由美、沖野佳代

Phone (082)830-1509 [内線: 6410]
Fax (082)830-1794
E-mail lang@m.hiroshima-cu.ac.jp
ホームページ

<https://call.lang.hiroshima-cu.ac.jp/lang/index.html>

